

日本及びアメリカにおけるニューノーマル期の 大学間学生交流の方針に関する比較考察/ 実践報告

第26回留学生教育学会研究大会
教育研究事例発表

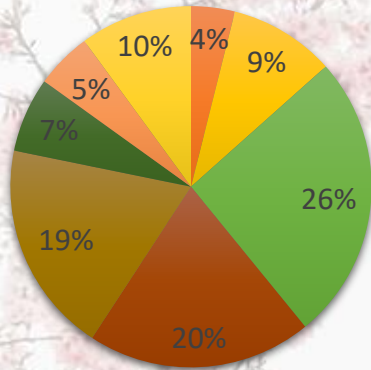
2021年8月21日

信州大学グローバル化推進センター 仙石 祐

本発表の焦点

新しい大学間学生交流検討の方向性を取りまとめた調査結果の中から、日本人留学生に最も渡航先として選ばれているアメリカと日本のデータを比較して傾向の違いに分析を加え、考察する。

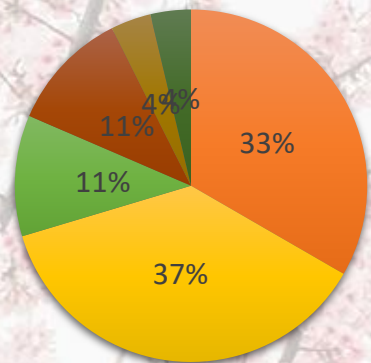
回答大学



■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 中部
■ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州

日本, 全179大学が回答

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	Total
国立大学	4	7	16	16	12	5	5	9	74
公立大学	2	8	7	9	10	5	3	6	50
私立大学	1	2	23	11	12	2	1	3	55
Total	7	17	46	36	34	12	9	18	179



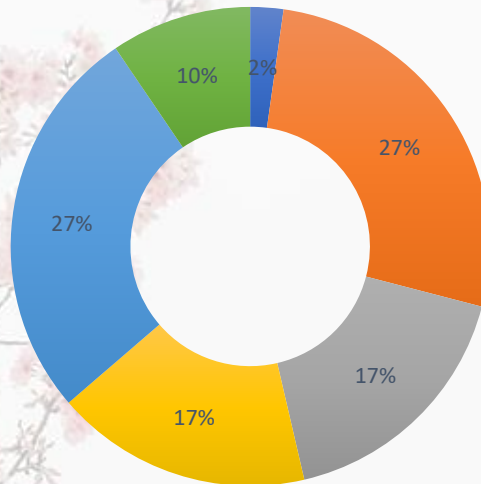
■ 国公立大学
■ 私立大学
■ リベラルアーツ・カレッジ
■ コミュニティ・カレッジ

アメリカ, 全27大学が回答

西部	7校
中西部	4校
南部	10校
北東部	5校
その他	1校

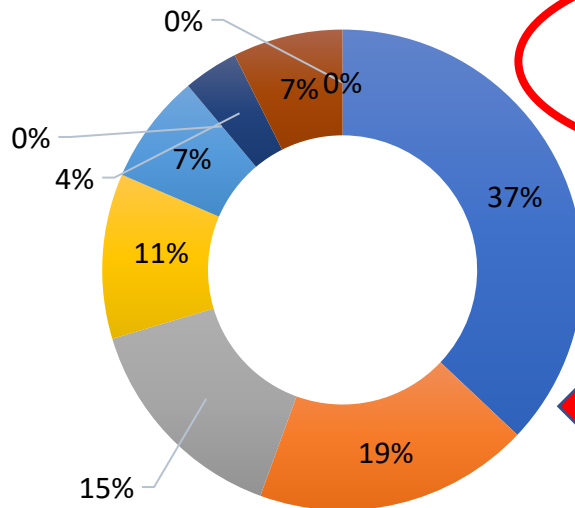
留学再開のガイドライン・方針

日本



- 【いいえ】 どこから手をつけて良いのかわかりません。
- 【いいえ】 しかし、私たちは方針を決めるための情報を収集中です。
- 【いいえ】 しかし、私たちは現在そういった方針制定について検討をはじめようとしています。
- 【いいえ】 以前通りに留学交流を再開するだけですから、新たな方針は不要です。
- 【はい】 私たちはパンデミック後に向けてのガイドライン・方針を定めつつある、もしくは検討中です。
- 【はい】 私たちはパンデミック後のガイドライン・方針を定めています。

アメリカ



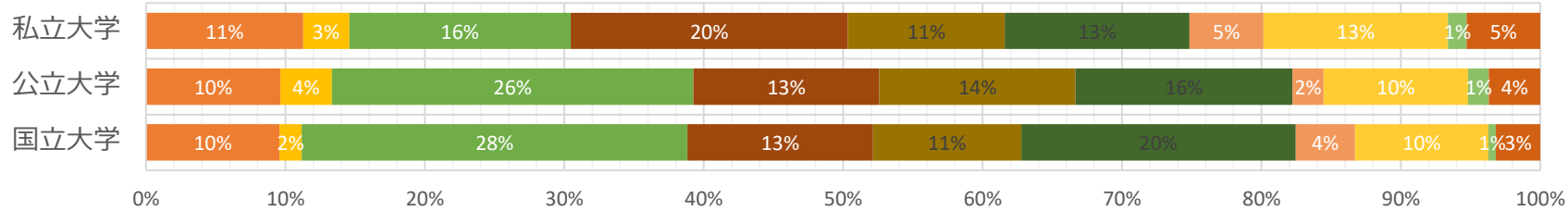
- Yes, it does. We have already issued student mobility guidelines for the period during or after COVID-19.
- Yes, it does. We will issue student mobility guidelines for the period during or after COVID-19.
- No, it does not. However, we have been discussing this.
- No, it does not. However, we are collecting information / resources to help us decide on guidelines.
- No, it does not. We will resume student mobility once local health guidelines or regulations/laws permit.
- No, it does not. We are consulting with external professional advisers.
- No, it does not. This is because we will not resume student mobility, for the time being, whatever the conditions.

「はい」と答えた大学：日本（37%） < アメリカ（56%）

...アメリカの大学の方がすぐにでも学生交流に関する対応が可能な状況を整えている可能性

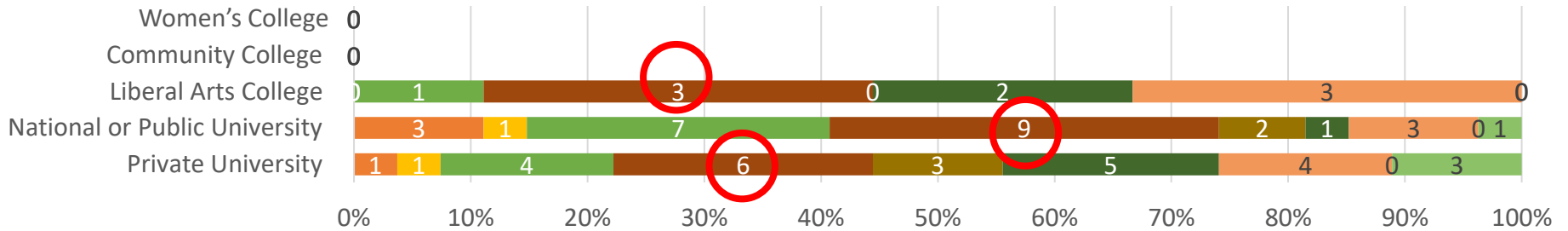
留学再開に際し参考にする意見

日本



- 学生の意見
- 保護者の意見
- 感染症対策について知見のある学内教職員などの意見・アドバイス
- リスク管理、留学エージェント、もしくはコンサルタントなど学外専門家の意見やアドバイス
- 有名もしくは影響力のあるほかの高等教育機関の動向
- 国内の大学連合、ネットワークなどからの情報
- 海外の大学連合、ネットワークなどからの情報
- ベンチマークにしている大学や大学群の動向

アメリカ

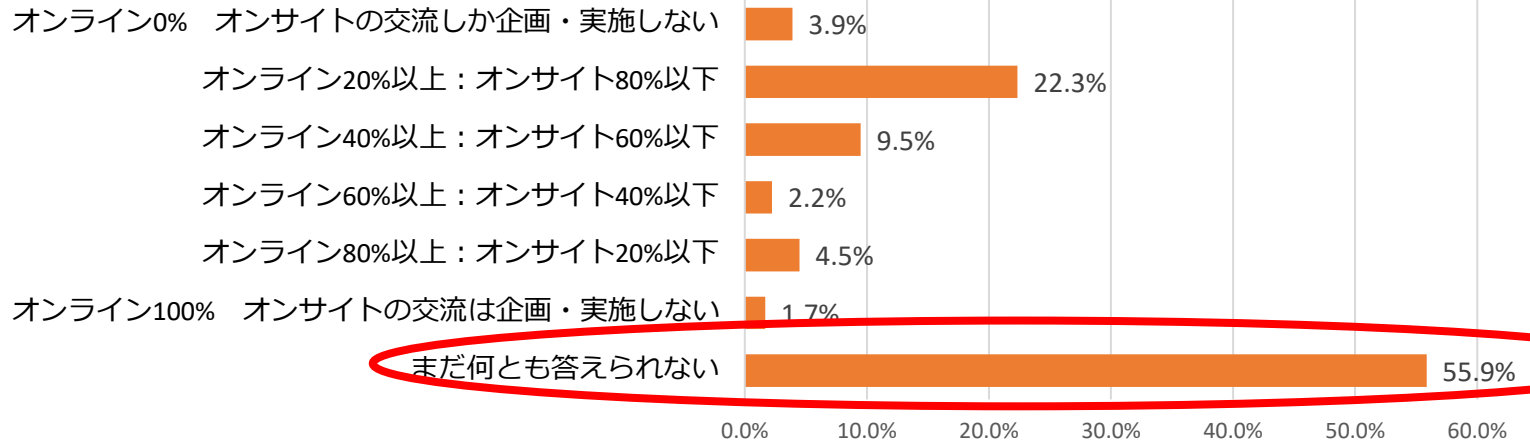


- Students' opinions
- Opinions of students' parents/ guardians
- Internal advice/ recommendations of university faculty/ staff members who have knowledge of COVID-19 and related areas
- External professional advice such as that from risk management institutions, study abroad agents, consultants or professional associations

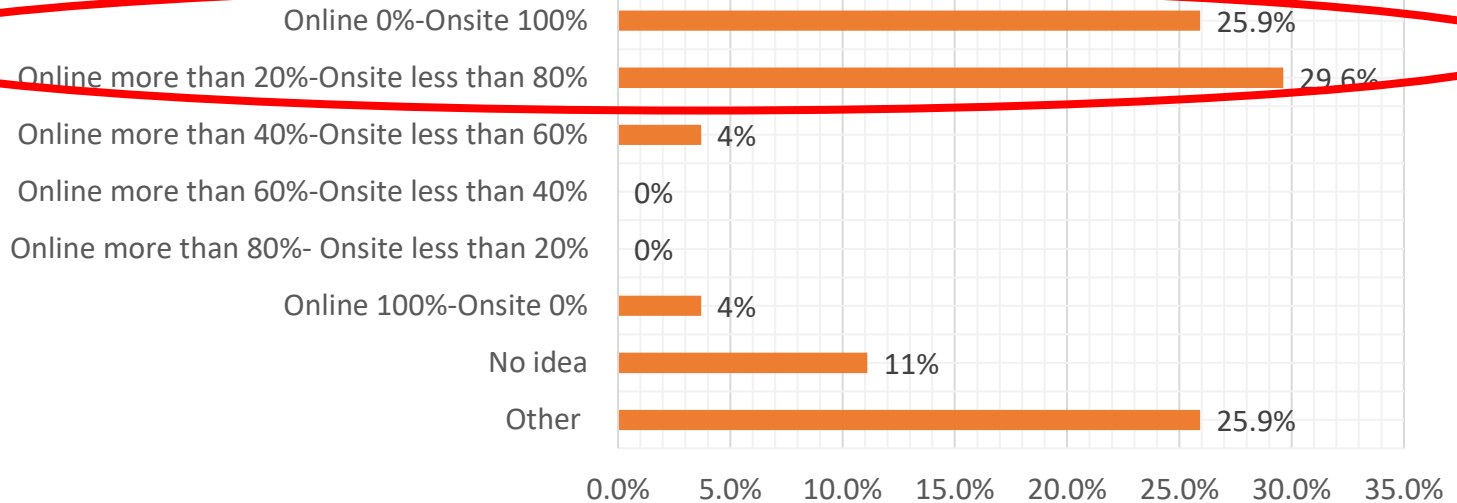
日本の大学...感染症対策に詳しい学内の教職員・学外専門家・国内大学のネットワークなどの意見や情報を幅広く参考にする。
 アメリカの大学...どの大学種別でも学外専門家の意見を最も参考にする。

感染症制御後の留学形態

日本



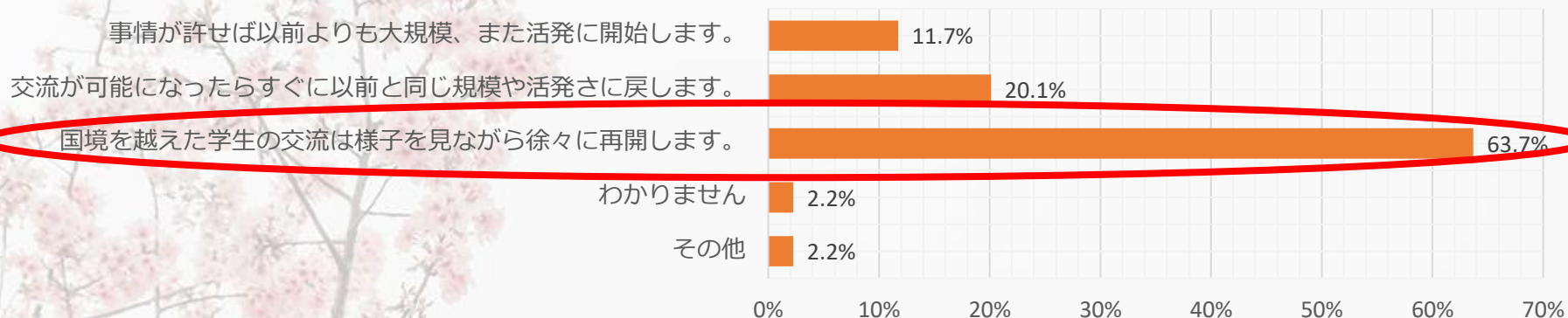
アメリカ



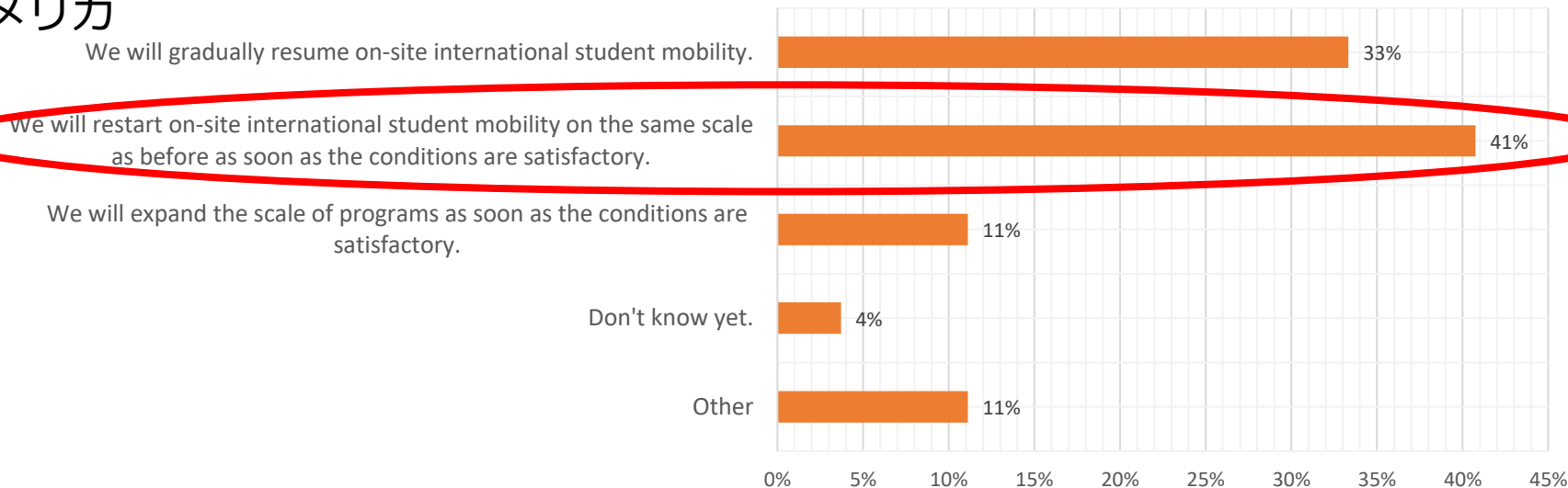
日本の大学...半数以上が比率を決めかねている。アメリカの大学...オンサイト80%以上にしたい大学が半数以上。
日本の大学は、学生交流の方針や留学形態の決定に関しては慎重。アメリカの大学が志向する学生交流はオンサイト重視。

学生交流再開

日本



アメリカ



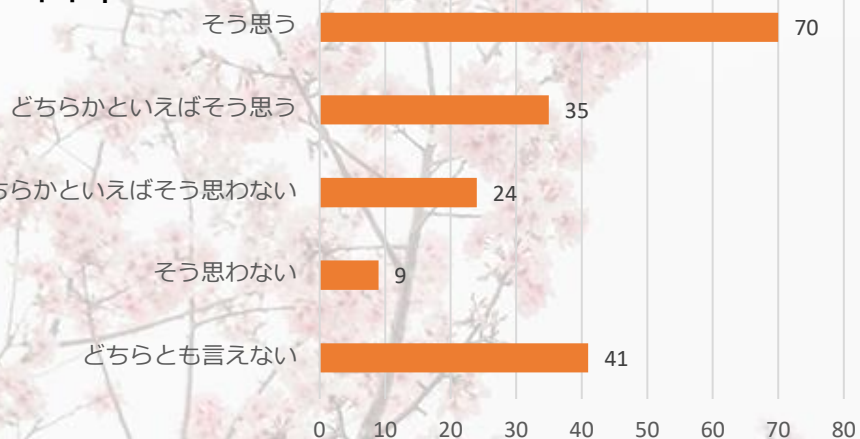
日本の大学...徐々に学生交流を再開させるが最大（64%）。

アメリカの大学...すぐにでも以前と同等の規模でオンサイト交流を再開させるが最大（41%）。

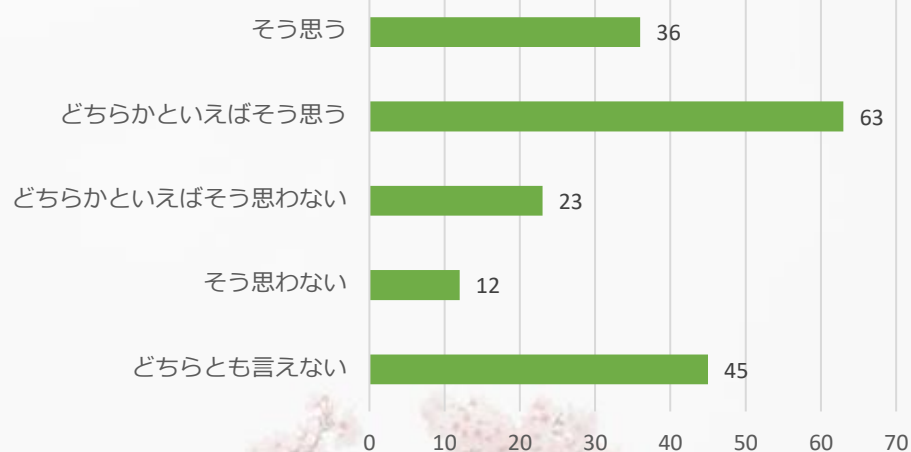
感染症制御後の大学留学交流プログラム派遣候補者の選考

平等性重視型

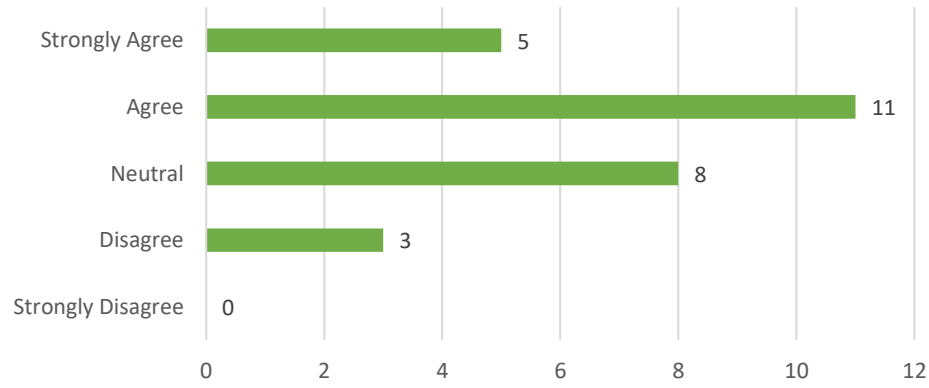
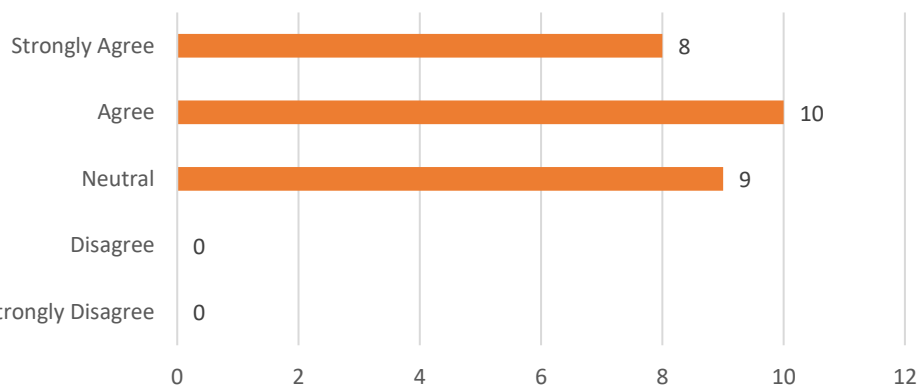
日本



既得権重視型



アメリカ

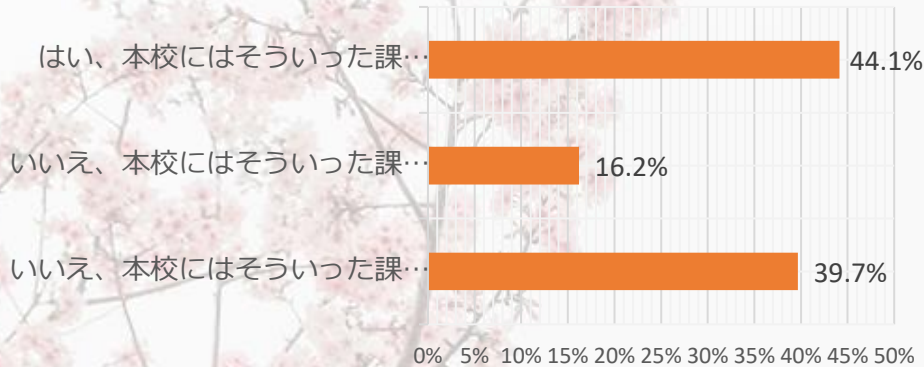


日本の大学... 平等性・既得権ともに肯定が多いものの、否定・どちらとも言えないにも回答分散。
アメリカの大学... 90%以上の大学が賛成もしくは中立の立場をはっきりさせている。

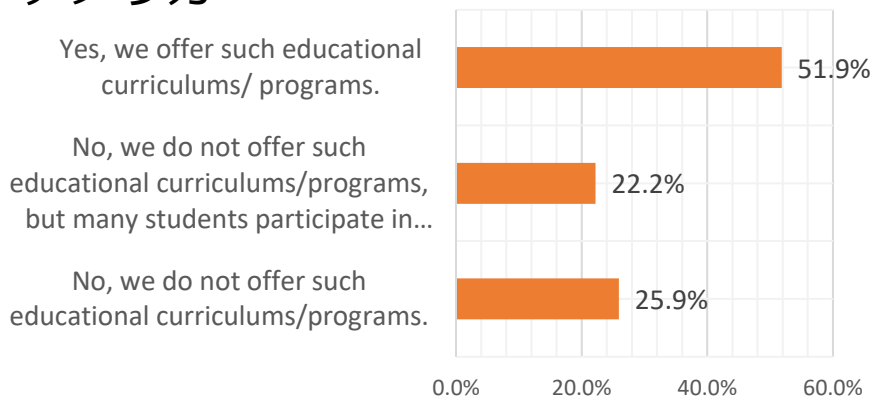
留学を必須とする課程

留学：修了・卒業要件の有無

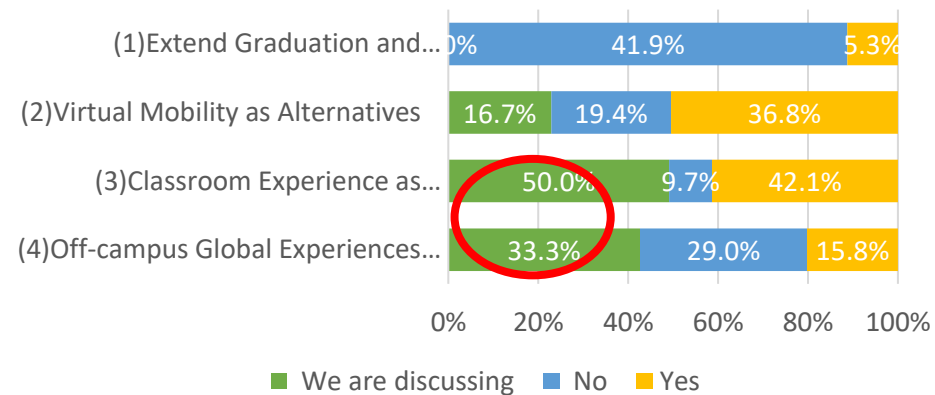
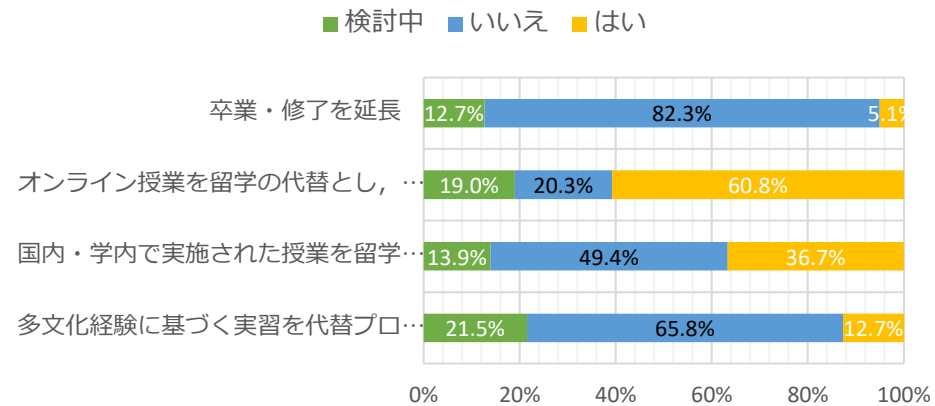
日本



アメリカ



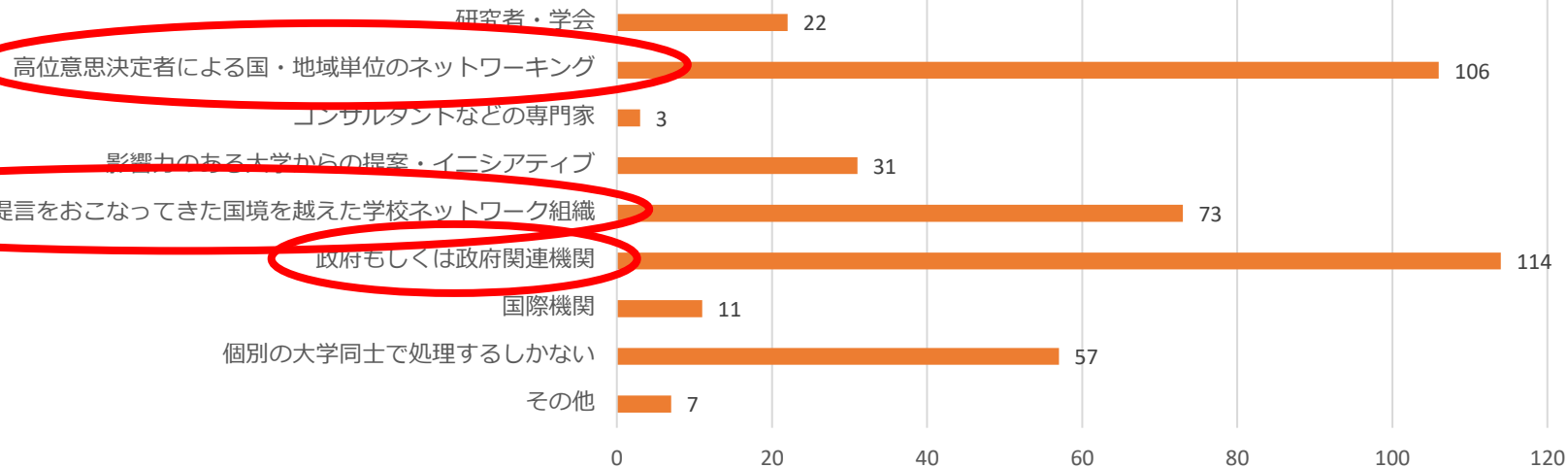
留学必須課程の運用状況



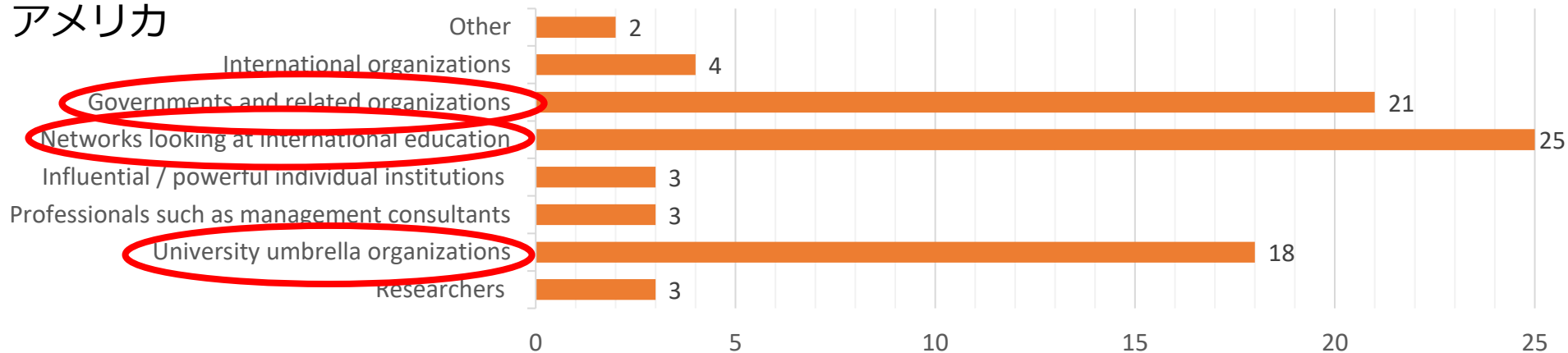
日本の大学...8割程度が、留学を必須とする課程における代替プログラムの扱いに関してすでに方針を定めている。
 アメリカの大学：国内で実施された授業、多文化経験等に関しては検討中が多い。

合意形成の主体

日本



アメリカ



両国の大学...政府機関・高位意思決定者による国や地域のネットワーク・国際教育の学校ネットワークがそれぞれ最も相応しいとする見方を示している。

まとめ (1)

- ・アメリカの大学の総数（約2600校）に比べると少ないサンプル数
- ・留学再開のガイドライン・方針の有無
 - ⇒アメリカの大学の方がすぐにでも学生交流に関する対応が可能な状況を整えている可能性
 - ・どのようなステークホルダーの意見を参考にするか
 - ⇒日本の大学…感染症対策に詳しい学内の教職員・学外専門家・国内大学のネットワークなどの意見や情報を幅広く参考にし、アメリカの大学…どの大学種別でも学外専門家の意見を最も参考する
 - ・オンラインとオンサイトの比率
 - ⇒日本の大学…学生交流の方針や留学形態の決定に関しては慎重。アメリカの大学…志向する学生交流はオンサイト重視
 - ・学生交流再開
 - ⇒日本の大学…徐々に学生交流を再開させる。アメリカの大学…すぐにでも以前と同等の規模でオンサイト交流を再開させる

まとめ (2)

- ・プログラム派遣候補者の選考

⇒日本の大学…平等性・既得権とともに肯定・否定・どちらとも言えないに回答分散。アメリカの大学…90%以上の大学が賛成もしくは中立の立場をはっきりさせている

- ・留学を必須とする課程

⇒日本の大学…8割程度が代替プログラムの扱いに関してすでに方針を定めている。アメリカの大学…国内で実施された授業，多文化経験等に関しては検討中が多い

- ・合意形成の主体

⇒両国の大学政とも府機関・高位意思決定者による国や地域のネットワーク・国際教育の学校ネットワークがそれぞれ最も相応しいと評価

日本の大学は、コロナ禍での留学代替プログラムにおいてはすでに意思決定を行っているものの、コロナ禍後国境オープン後の学生交流の形態や方針決定については慎重であり、ややもすればアメリカの大学のスピード感に劣っているという示唆